

令和7年度千葉県相談支援従事者現任研修カリキュラム

(特非) 千葉県精神障害者自立支援事業協会

【1日目】講義：オンデマンド配信

時間	カリキュラム	担当者
(15分)	ガイダンス	事務局
(70分)	【講義（行政説明）】「障害福祉施策の動向について」	県担当
(65分)	【講義】「意思決定支援に着目した個別相談支援の理論と実践」	講師
(65分)	【講義】「多職種連携とチームアプローチの理論と実践」	講師
(65分)	【講義】「コミュニティワークの理論と実践」	講師
(65分)	【講義】「スーパービジョンによる人材育成の理論と方法」	講師
(15分)	インターバル及び演習オリエンテーション	事務局

※【インターバル（実地研修）】

- ①：受講生自身が関わっていて悩んでいるケース（例：支援目標や方針が見えにくい事例、チームアプローチや地域との連携が必要と思われる事例など）について事例一式（相談受付票・アセスメント票・サービス等利用計画書・週間ケア計画書）の書式を作成し、演習1日目に1部持参する（ZOOM演習時は手元に用意しておけばよい）、また演習2日目には8部持参する。

※ 健康状態の悪化や虐待など危機介入が必要な事例、福祉の支援を拒否し関係が構築できていない事例、主相談者が本人ではない事例などは避ける。

【演習1日目】講義及び演習（ZOOMによるリモート開催）1グループ7名

時間	カリキュラム	担当者
受付	（ZOOM入室可）8:45～ （ZOOM困難者用小規模会場）9:00～受付開始	
9:15～9:30(15)	ガイダンス（ブレイクアウトルーム入退室練習含む）	演習リーダー（全体に1名）
9:30～9:50(20)	【導入講義（振り返り）】 「意思決定支援に着目した個別相談支援の理論と実践」	
9:50～10:50(60)	【演習】「セルフチェックとグループ内での共有（自己紹介含む）」 <u>ワークシート1</u> ・演習リーダー説明～セルフチェック（10分） ・グループ（ブレイクアウトルーム）内自己紹介（15分） ・セルフチェックの結果について、グループ内意見交換（35分） <u>この日は進行役をファシリテーターが行う</u>	
10:50～11:00	（休憩）	
11:00～12:00(60)	【演習】「事例発表（報告用）ワークシートの作成」 <u>ワークシート2</u> 午後の発表に備え、インターバル課題①で作成した事例について、ワークシートを用いて5分程度で報告する事例の要点を整理する。（演習リーダー説明 → 個人作業）	
12:00～13:00	（休憩）	ファシリテーター（各グループ（ブレイクアウトルーム）に1名配置）
13:00～16:30(195) + 休憩(15)	【演習】「事例報告及び検討（インターバル課題①）」 グループで各自が5分間で事例を報告し、進行役（ファシリテーター）や他の受講生からの質問や意見を受け、インターバルで実施するケースレビューに向けたポイントの整理を行う。（意見交換はインターバルでの発表に向けて、5分の報告を効率よくするための工夫や、盛り込	

	<u>んだ方がいい点、参加者としてもっと訊いてみたい点などを確認し合う内容とする、手立てや対応の案には触れない。</u> ・ 演習リーダー説明（5分） ・ グループ（ブレイクアウトルーム）内各発表（事例発表5分→進行役（ファシリテーター）から要点確認5分→意見交換15分）計25分×7名 ・ 途中休憩は各グループで設定 ・ 最初なので各自の事例発表が伸びてしまう可能性あり、15分の調整時間を加えています	
16:30～16:45 (15)	インターバルオリエンテーション	

※【インターバル（実地研修）】

②：①について演習1日目で作成した「ワークシート2」を用い、その際の助言等も踏まえ、基幹相談支援センター等（委託相談・機能強化Ⅰ型事業所・協議会の相談部会）に事例を提供し、ケースレビュー（事例検討やSV）を受ける。そこで受けた助言や気づき等をワークシート2に追記し、演習2日目に8部持参する。（①で作成した相談受付票・アセスメント票・サービス等利用計画書・週間ケア計画書も8部持参する）

③：研修開始～3日目までの間に、地域の自立支援協議会の活動を見学参加し、レポート「インターバルワークシート」を作成し、演習3日目に8部持参する。（レポート内容は、地域自立支援協議会の組織や開催状況、活動内容、自分が参加した会の活動内容など）

【演習2日目】講義及び演習（会場での対面開催）1グループ7名

時間	カリキュラム	担当者
受付	8:45～	
9:15～9:25 (10)	ガイダンス	演習リーダー（全体に1名） ファシリテーター（1ファシリが2グループを担当）
9:25～9:45 (20)	【導入講義（振り返り）】 「チームアプローチと多職種連携」	
9:45～10:25 (40)	【演習】「セルフチェックとグループ内での共有」 「ワークシート3」 ・セルフチェック（5分） ・自己紹介（10分） ・この日と3日目のグループスーパービジョン体験演習までの進行役（1名）を決める ・セルフチェックの結果について、グループ内で意見交換（25分）	
10:25～10:40	（休憩）	
10:40～11:50 (70)	【演習】「実践報告（インターバル課題②）」 ① インターバル期間に基幹相談支援センター等で受けたケースレビューや、その後実際に行った支援等を報告し、意見交換を行う。 ・演習リーダー説明（10分） ・1人20分（発表者：ケースの概要報告5分・インターバルで得られた助言や気づき、その後の対応や変化など5分 → グループ内意見交換10分）×7名 ・進行役はグループ内の進行役が行う。 ・1事例当たり20分の時間はきちんと取る。	
11:50～12:50 (昼休憩)		
12:50～14:35 (105)	②（一周後）事例の中から演習3日目のグループスーパービジョン体験演習で取り組む事例を選出する。（10分）※ 事例の選出はチームアプローチや地域資源の活用など、地域支援の展開について協議ができる事例を選出する。 ③ 演習1日目での整理～インターバルでケースレビューを受けた一連のプロセスについて、感想や考察をグループ内で共有する（15分）	
14:35～14:50	（休憩）	

14:50～15:10(20)	【導入講義（振り返り）】「スーパービジョン」	
15:10～16:00(50)	【講師ロールプレイ(実演)】グループスーパービジョンの実践例 ・ 演習リーダー説明（10分） ・ 実演動画視聴（30分） ・ 演習リーダー説明（10分）	
16:00～16:30(30)	【演習】「意見交換（スーパービジョンについて）」 振り返り講義や前段の実演（動画）を受け、スーパービジョンについて、気づきや考察また事業所や各地域での取り組み等の共有・意見交換を行う。また3日目に行う 体験演習の進行役 も決める。	
16:30～16:45(15)	演習まとめ	

【演習3日目】講義及び演習（会場での対面開催）1グループ7名

時間	カリキュラム	担当者
受付	8:45～	
9:15～10:35(80)	【演習】「グループスーパービジョンの体験演習」2日目に決めた共通事例について各グループで体験演習する。 ① 演習リーダー説明5分→役割確認5分→ 受講生ロールプレイ（途中で区切りながら）45分 →グループ内振り返り10分 ② 全体発表（15分） 発表は進行役か事例提供者	演習リーダー（全体に1名） ファシリテーター（1ファシリが2グループを担当）
10:35～10:50	（休憩）	
10:50～12:10(80)	【演習】「自立支援協議会（インターバル課題③）」 インターバルワークシート 残りの演習（協議会～コミュニティーワーク）の「進行役」と「発表者」を決める 各自が参加した自立支援協議会について報告する。（演習リーダー説明10分）→（グループ内1人10分×7名（相互の質問や意見交換含む））	
12:10～13:10	（休憩）	
13:10～13:30(20)	【導入講義（振り返り）】「コミュニティワーク」	
13:30～14:30(60)	【演習】「コミュニティワーク①」 ワークシート4 （演習リーダー説明10分）地域変革のためのヒアリングシートを用いて、各自が取り上げた事例について、利用者からみた地域資源、地域アセスメントを実施する（個人作業(15分)→グループ内発表（1人5分×7名））。	
14:30～14:45	（休憩）	
14:45～16:05(80)	【演習】「コミュニティワーク②」 ワークシート5 グループスーパービジョンで取り上げた事例について、付箋や模造紙を活用してグループで「地域資源の展開」について相談支援専門員の行動プラン（十文字表）を作成する。 ・ 演習リーダー説明（10分） ・ グループ演習（50分） ・ 全体発表（20分）	
16:05～16:35(30)	研修まとめ（グループ内意見交換20分+全体発表10分）	
16:35～16:45(10)	修了証書交付	